

## 感動の予餞会！次は卒業式

R8.2.27



### 雰囲気壊さないため、読まなかった原稿

「予餞会」の餞という字は、はなむけと読みます。はなむけという言葉には諸説あり、旅立つ人の無事を願って、進む道に花、フラワーを向けたことから転じたという説があります。また、人が乗った馬を引く人が進む道に鼻、ノーズを向けたことから転じたという説もあるようです。いずれにしても、予餞会は卒業生が進むべき道に向かえるよう、他の人が背中を後押しする会ということになります。皆さんは、そのような意味を知らなかったかもしれませんが、今回の予餞会で交わされた言葉や拍手にはそんな思いが込められており、本当に感動しました。

三年生の皆さんは、まもなくこの学校を巣立ち、それぞれの新しい道へ進んでいきます。希望に満ちている一方で、不安や迷いもあると思います。そんな時は、この中学校で過ごした日々、共に笑い、支え合った仲間がいたこと、いつも先生方が寄り添って支えてくれたことを思い出してください。残念ながら、中学校の仲間、先生方と共に過ごせるのもあとわずかです。残り少ない時間を感謝の気持ちを忘れず、大切に過ごしてください。これまで学校を引っ張ってくれて、本当にありがとうございました。

一、二年生の皆さんが贈ってくれた言葉や拍手は、三年生のこれからの歩みを照らす「花」となりました。卒業式でも、更に感謝の気持ちを込めて、心から送り出してください。

先生方も含めここにいる全員で協力して、感動の卒業式にしましょう。以上、餞の言葉とします。

八日市場第一中学校長 冨田 壘